

9月18日：VN指数は堅調に推移 (VN-Index +0.47%)

- 本日深夜に結果が発表されるFOMCの結果に備えつつ、本日のVN指数は上昇して取引を開始した。
- 海外機関投資家を対象とする前受金制度に関する政令が本日承認されたとのうわさが前場中に市場に広がり、証券銘柄を中心としてさらなる上昇を見せた。
- 後場では幅を若干縮小させたものの、上昇を維持して大引けとなった。
- 証券会社を含む金融セクターだけでなく、銀行セクターの上昇も本日の指数に寄与した。一方で素材セクターはその重しとなった。
- 231銘柄が上昇、148銘柄が下落、87銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に改善し、37%増の18.5兆ドンとなった。

VN30指数はより流動的 (VN-30 +0.56%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、17銘柄が上昇、9銘柄が下落、4銘柄が変わらずだった。
- CTG (+2.15%)、SSI (+2.14%)、MWG (+2.10%)などが主な上昇銘柄。
- VRE (-1.29%)が唯一1%を超える下落を記録した。

セクター・個別株の動き

- PNJ (0.00%) が2024年8月の業績を発表した。同社は8月に2.24兆ドン(前年同月比-3%)の売上、630億ドン(同-17%)の税引き後利益を記録した。宝飾品・金部門は好調だったものの、それ以外の部門が足を引っ張った。
- CTR (+6.98%) は2023年度の利益分配のために27.2%の比率で現金配当を実施することを明らかにした。同発表後、同社の株価はストップ高となった。
- 外国人投資家は3,200億ドンの買い越し。SSI (+2.14%)、FUESSVFL (+1.22%)、FPT (+1.28%)がそれぞれ1,000億ドンを超える買い越しを記録した一方で、HPG (-0.59%)が唯一大きく売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。